

第11章 外部評価

11.1 外部評価委員会

【改善内容】

自己点検・評価のまとめが急がれるとともに、今後の定期的な実施計画についても検討を行う必要がある。さらに、定期的な自己点検・評価の実施にあたって、それを効率的に行うために評価用データベースの構築も作成を検討する必要がある。

種々の自己点検・評価の結果についての公表や、教員へのフィードバックと具体的な改善への活用等についても、組織的に実施に向けての検討が必要である。

自己点検・評価を開始しているが、具体的な作業はこれからであり、今後の点検作業を踏まえた効率的な評価用データベースの作成の検討を始めた。

外部評価に関しては、平成17年度以降は、必要に応じて開催し、外部評価として評価結果をまとめるとともに、それらを公開する必要がある。また、この評価に基づく改善の状況について、過程、結果等を明確にする必要がある。

【改善状況】

平成17年度に、「自己点検・評価報告書－函館高専の現状・課題と改善の方向について－」を作成し、刊行およびWeb上での公開を行った。さらに、「函館工業高等専門学校外部評価委員会」を発足し、「自己点検・評価報告書」に基づき、外部有識者の方々の評価を受けている。評価結果は「外部評価報告書」として刊行およびWeb上での公開を行っている。

平成18年度には、平成17年度の評価結果について、その後の改善状況をまとめ、改めて外部有識者の方々の評価を受ける予定である。

【追加裏付資料】

11.1-1) 「自己点検・評価報告書－函館高専の現状・課題と改善の方向について－」

11.1-2) 「外部評価報告書」

11.2 企業および卒業生へのアンケート

【改善内容】

より多くの企業および卒業生から回答が得られるよう、アンケートの手法の改善、要望・提言とそれを受けた改善の実施およびそれらの公開を行うことが必要である。

【改善状況】

平成17、18年度にかけて、シラバスの改善、授業アンケート様式の改善、総合成績表の低学年科目への導入など様々な教育改善を行っているが、これらの中には平成16年度に行ったアンケートの回答がきっかけとなったものも多い。

今後も、企業及び卒業生から、様々な形で本校への要望・意見を集めるために、アンケートの時期、対象、回数、項目などの具体案を現在検討中である。

【追加裏付資料】

11.2-1) 平成18年度シラバス

11.2-2) 総合成績評価表（例）